

報 告 書 抄 録

ふりがな	せきのつじょういせき							
書 名	関津城遺跡							
シリーズ名	国道422号補助道路整備工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	三宅弘 小林裕季							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月	平成28年(2016年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
せきのつじょういせき 関津城遺跡	しがけんおおつし 滋賀県大津市 せきのつさんちようめ 関津三丁目	252018	201- 247	34° 55' 37"	135° 55' 24"	20090817 ～ 20100325 20100701 ～ 20110325 20110401 ～ 20111207	12,750㎡	国道422号補助道 路整備工事
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
関津城遺跡	城跡	鎌倉時代		中世墓		陶器・土師器		
		室町時代後期		曲輪 礎石建物 門 井戸 溝 土塁 堀切 切岸		土師器 陶器 陶磁器 石製品 金属製品		
要 約	<p>宇野氏の居城と考えられる戦国時代の山城に関わる遺構・遺物が出土した。遺構では、土塁や堀切、切岸といった防御施設とともに、曲輪内からは複数の礎石建物や井戸、排水溝、土坑などの生活空間といえる遺構を検出した。とりわけ、内部から多量の炭化穀類が出土した焼失土蔵や埋甕遺構などの遺構は、構造や内容を考える上で貴重な事例である。</p> <p>遺物では、土師器皿や信楽焼播鉢などの日用雑器のほかに、輸入陶磁器や調度品と考えられる節金具などの多様な金属製品が出土し、中小の在地土豪クラスの小規模な城郭を考える上でモデルケースとなる調査成果といえる。</p>							